

世界が進むチカラになる。



グラフで見る東海経済 (2024年9月)

2024年9月10日

調査部 主任研究員 塚田 裕昭

今月の景気判断 ～足踏み状態となっている

【今月のポイント】

- 東海経済は、足踏み状態となっている。
- 6月の生産（東海3県）は前月比－7.7%と2ヵ月ぶりに減少。6月に新たに発覚した自動車の認証不正による生産停止により輸送機械が再び減少、電子部品デバイス等、その他主要業種も減少した。
- 7月の実質輸出は、前月比＋2.0%と2ヵ月連続で上昇したが、均してみると足踏み状態となっている。
- 6月の名目賃金は、特別給与の増加もあって前年比＋4.5%と伸びが拡大。実質でもプラスとなった。

項目	現状
景気全般	足踏み状態となっている
生産	足踏み状態となっている
輸出	足踏み状態となっている
設備投資	増加している
雇用	持ち直しの動きがみられる
賃金	持ち直しの動きがみられる
個人消費	持ち直しの動きがみられる
住宅投資	横ばい圏で推移している
公共投資	高めの水準となっている

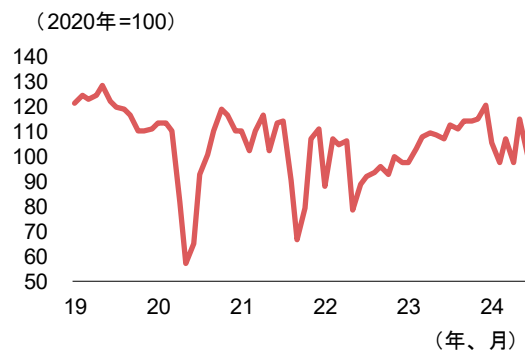
生産

6月の鉱工業生産(東海3県)は前月比-7.7%と2ヵ月ぶりに減少した。6月に新たに発覚した自動車の認証不正による生産停止により輸送機械が再び減少、電子部品デバイス等、その他主要業種も減少した。先行きについては、足踏み状態が続くと見込まれる。

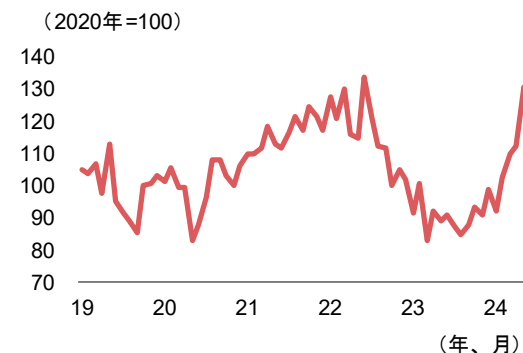
鉱工業生産指数



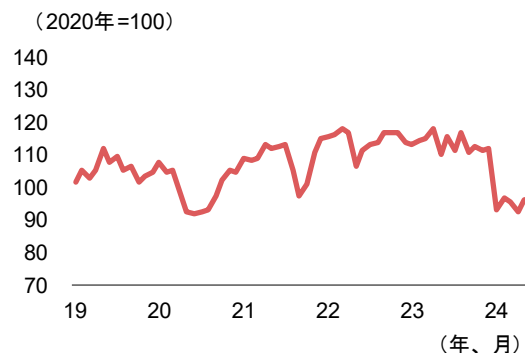
輸送機械



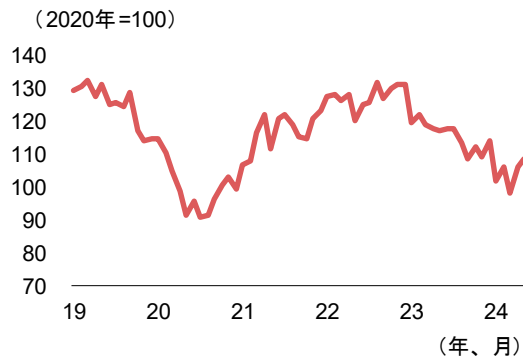
電子部品デバイス



電気機械



汎用・生産用・業務用機械

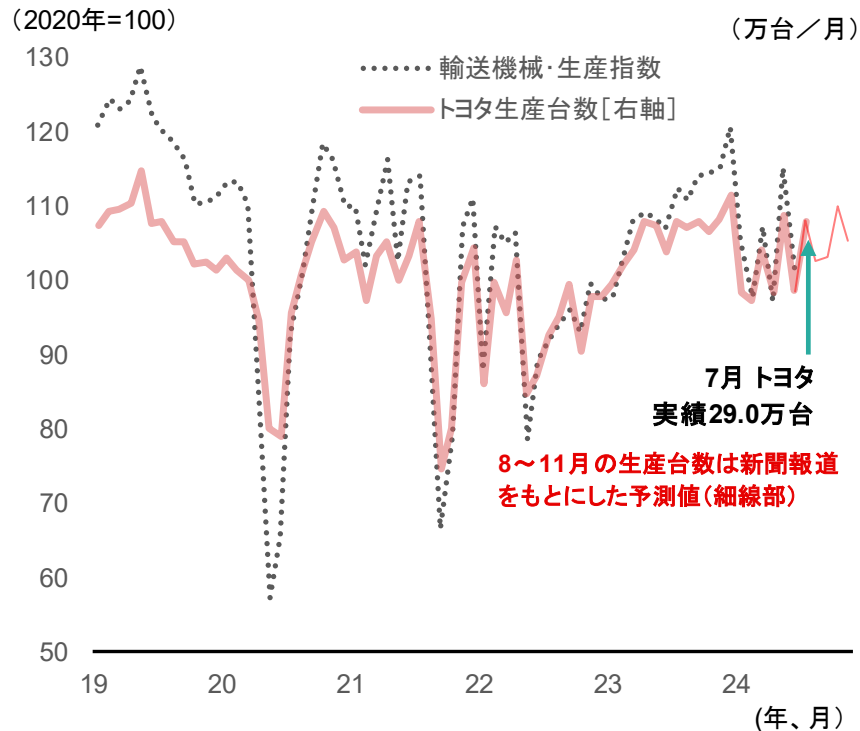


(出所) 経済産業省「鉱工業生産動向」

生産（トヨタ国内生産）

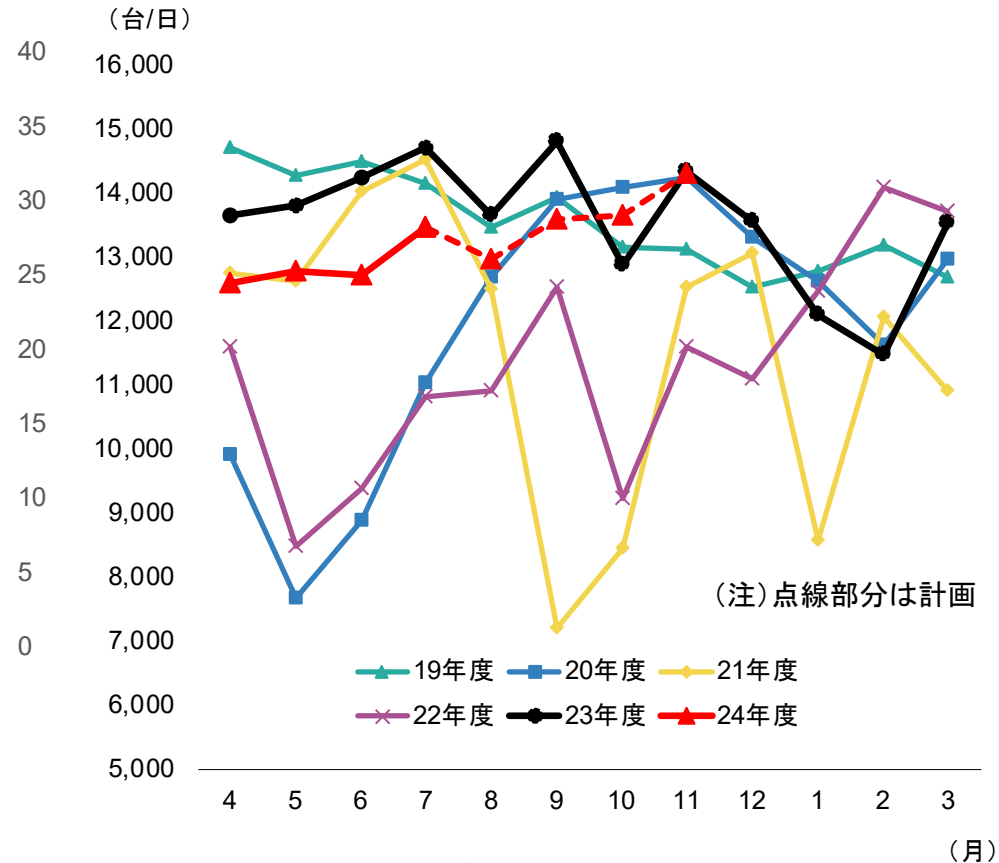
7月のトヨタ生産台数(弊社季節調整値)は29.0万台と2ヵ月ぶりに増加。認証不正による一部車種の生産停止があったものの、トータルでは増加した。8月は月末にかけて台風の影響による生産停止もあり、認証不正による生産停止は9月に入っても継続中であるため、しばらく足踏みが続くと見込まれる。

トヨタ月次生産台数(季節調整値)



(注)トヨタ生産台数の季節調整はMURC試算、輸送機械・生産指数は東海3県のもの
(出所)中部経済新聞、鉄鋼新聞、中部経済産業局「鋳工業生産指数」

トヨタ日当たり生産台数(原数値)



(出所)トヨタ自動車HP、中部経済新聞、鉄鋼新聞

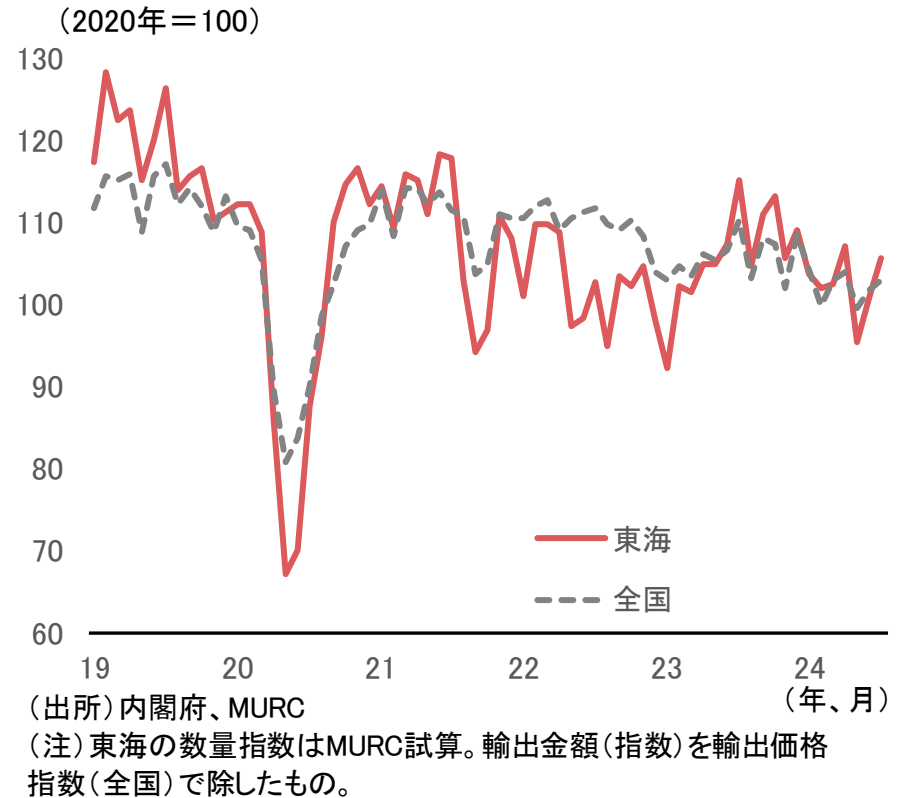
輸出

7月の実質輸出指数(季節調整値)は、前月比+2.0%と2ヵ月連続で上昇したが、均してみると足踏み状態となっている。当社試算による7月の輸出数量指数(季節調整値)も、前月比で2ヵ月連続で上昇したが、均してみると足踏み状態となっている。。

実質輸出指数(季節調整値)



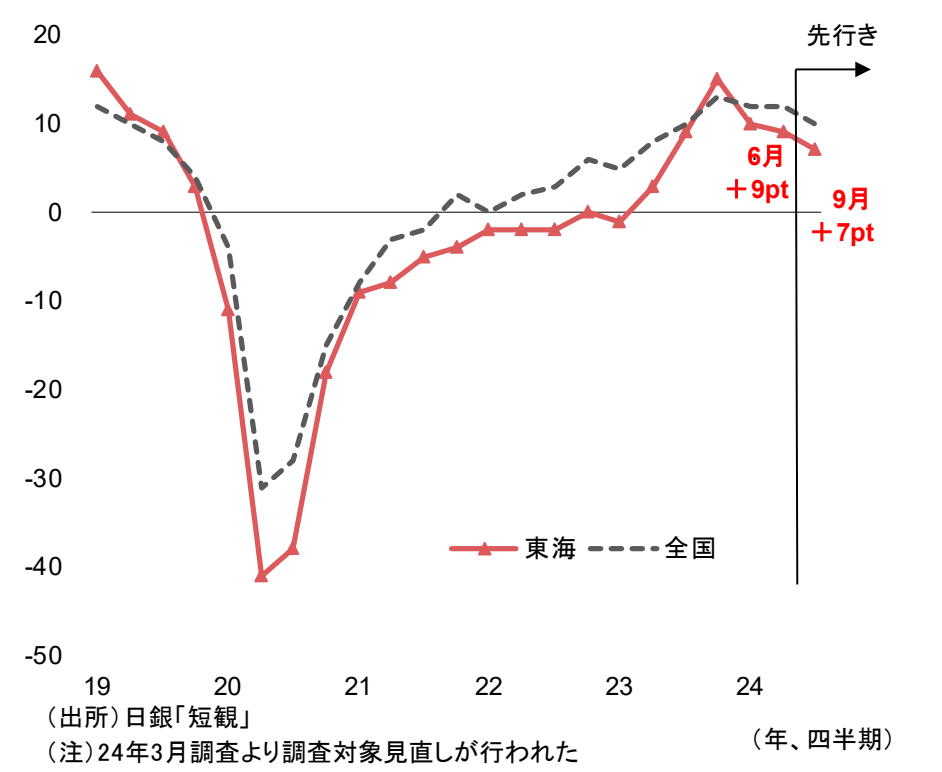
輸出数量指数(季節調整値)



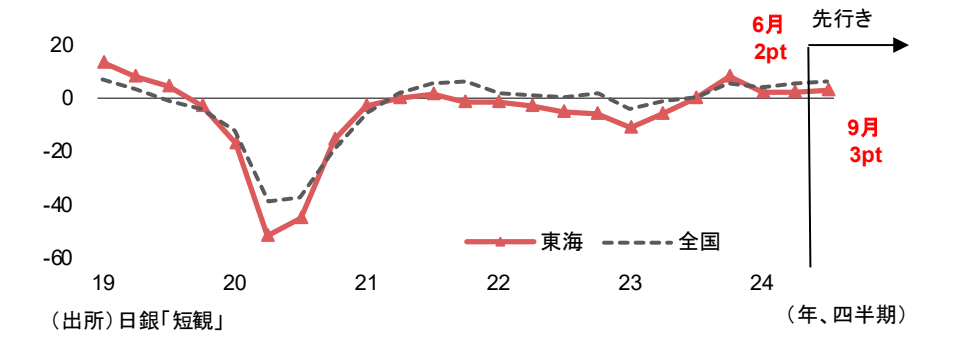
企業景況感(日銀短観) ※以下は7/1公表の6月調査。9月調査は10/1公表予定

日銀短観6月調査の業況判断DIは、全産業で+9ptと3月調査(+10pt)から小幅悪化した。製造業でははん用機器が改善する一方、電気機械が悪化、自動車は小幅悪化となった。非製造業では建設、卸売、対個人サービスが悪化した。先行き(9月)については、製造業は小幅上昇、非製造業は低下が見込まれている。

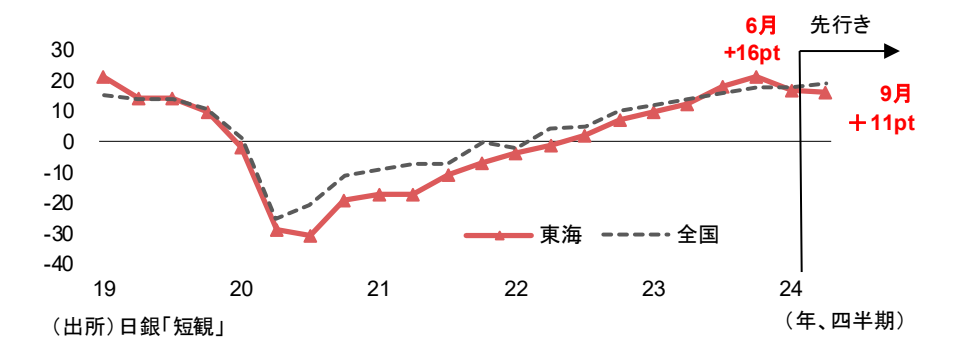
短観 業況判断DI「全産業」



同 製造業



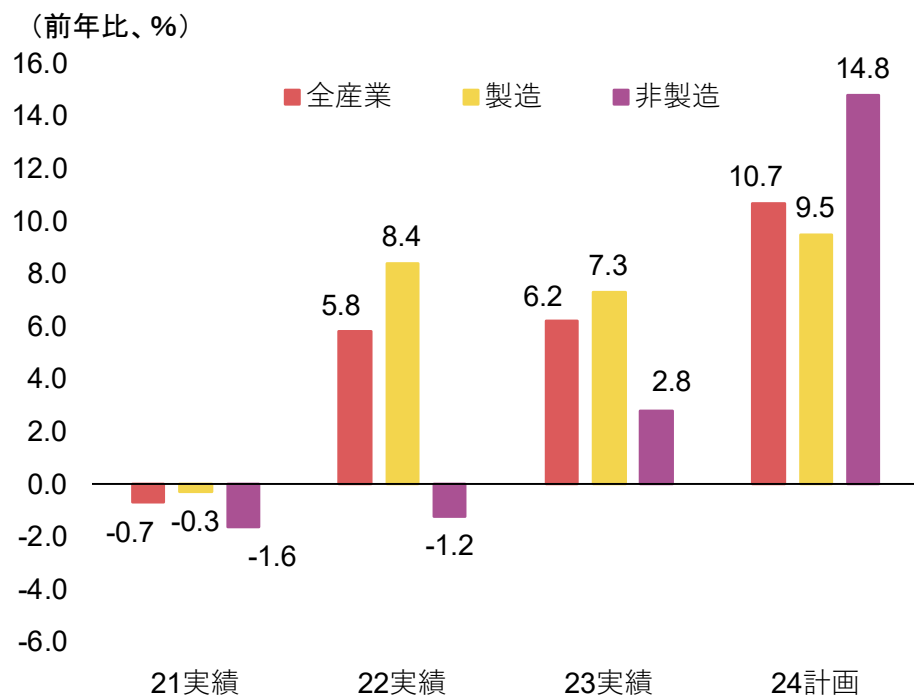
同 非製造業



設備投資（日銀短観） ※以下は7/1公表の6月調査。9月調査は10/1公表予定

日銀短観6月調査によると、24年度の設備投資は、全産業で+10.7%と高い伸びが見込まれている。はん用機械、その他輸送用機械、建設、卸売、情報通信などで高い伸びを見込んでいる。

設備投資 実績・計画



設備投資額（前年比%）

設備投資額（前年比%）

	23年度実績	24年度計画		
		今回調査	前回調査との差異	前回調査
全産業	6.2	10.7	(10.0)	0.7
製造業	7.3	9.5	(9.2)	0.3
非製造業	2.8	14.8	(12.8)	2.0

（出所）日銀名古屋支店「短観」

（注）含むソフトウェア・研究開発、除く土地投資

（年度）

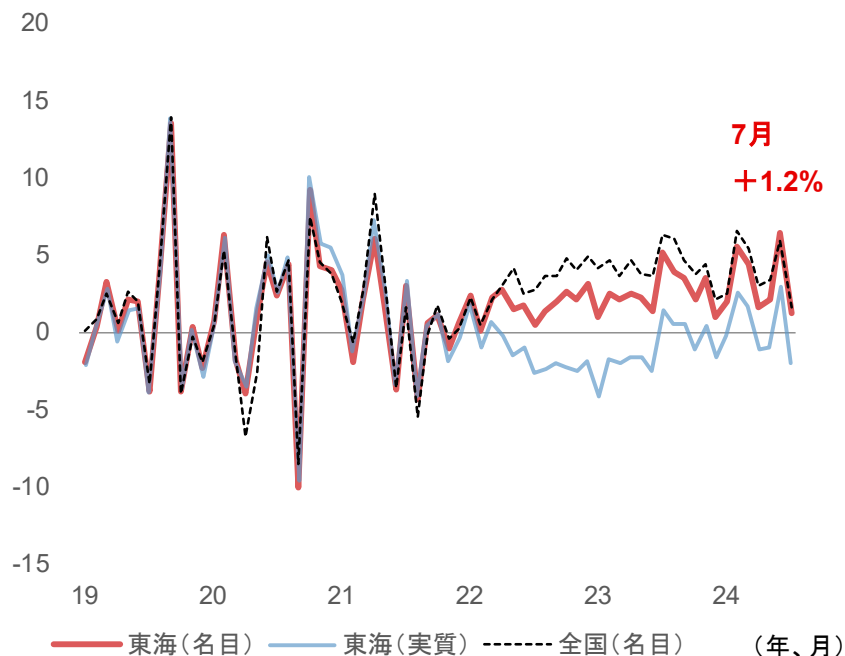
個人消費(小売売上、自動車販売)

7月の小売販売額(名目)は前年比+1.2%と32ヵ月連続でプラスとなった。実質値を試算すると、7月は前年比-2.0%と2ヵ月ぶりにマイナスとなった。

7月の新車販売は、前年比+5.6%と2ヵ月ぶりにプラスとなった。普通車は前年比で減少したが、小型車、軽自動車が増加した。

小売販売額(6業態計)

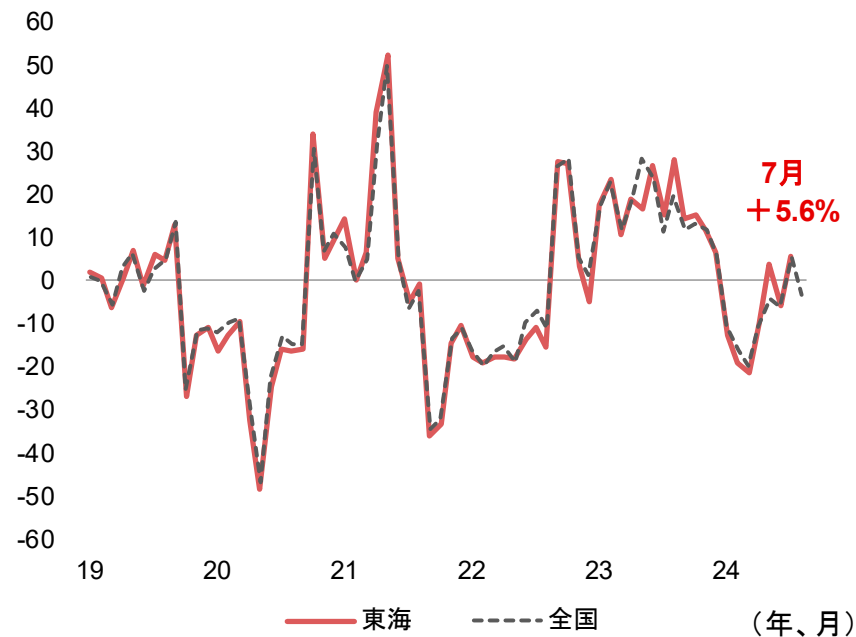
(前年比、%)



(出所) 経済産業省「商業動態統計」からMURC試算
(注) 百貨店、スーパー、コンビニ、ドラッグストア、家電量販店、ホームセンターの合計
「持家の帰属家賃を除く総合(東海)」で実質化

新車販売台数(含む軽)

(前年比%)

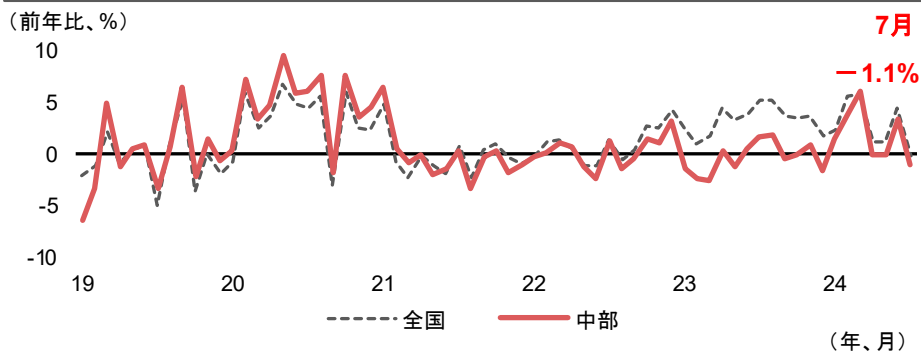


(出所) 日本自動車販売協会連合会「新車販売台数状況」
全国軽自動車協会連合会「軽四輪車新車販売」

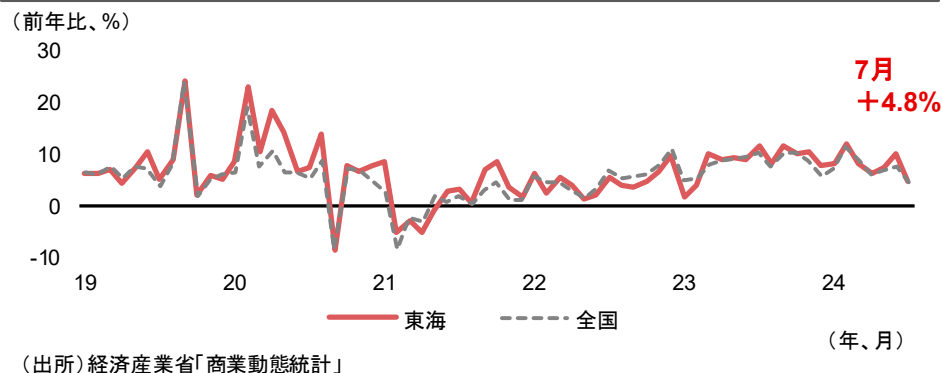
個人消費(業態別)

7月の業態別小売販売(名目)を見ると、スーパー(中部5県)は前年比-1.1%と2カ月ぶりに減少した。
7月の百貨店売上(名古屋)は、高額品販売、インバウンドの好調により、前年比+7.0%と34カ月連続のプラスとなった。

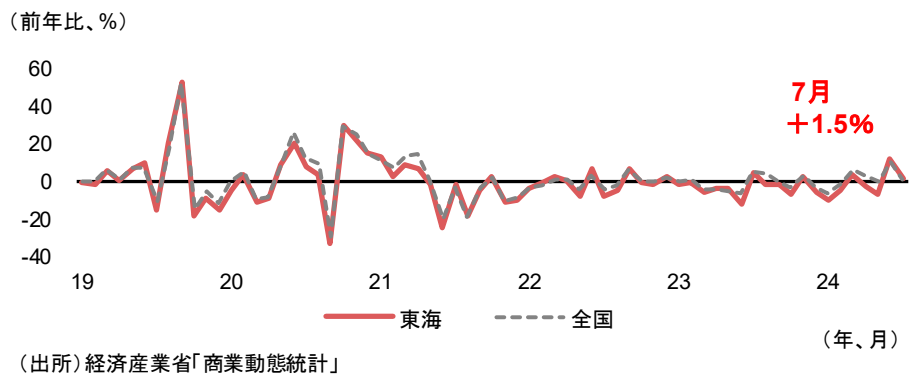
スーパー販売額



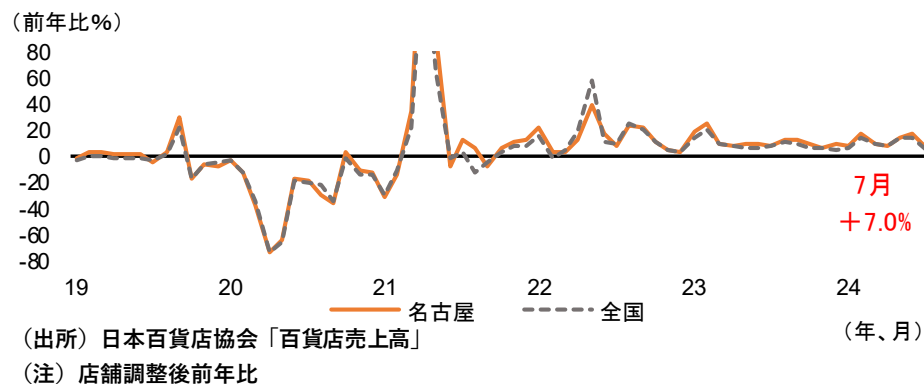
ドラッグストア販売額



家電大型販売店販売額



百貨店売上高

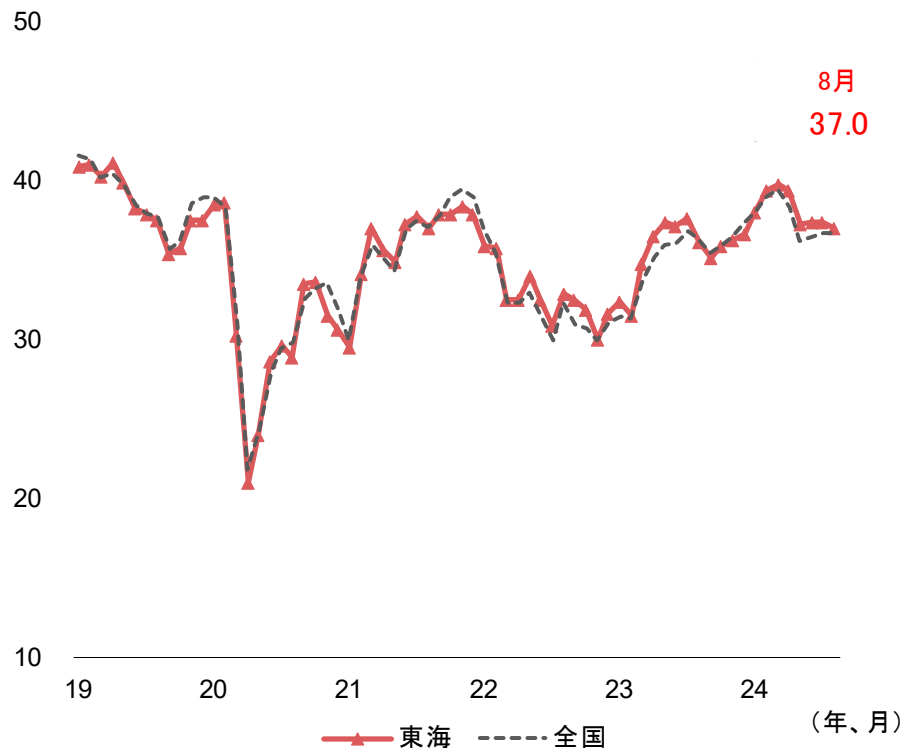


マインド・景況感

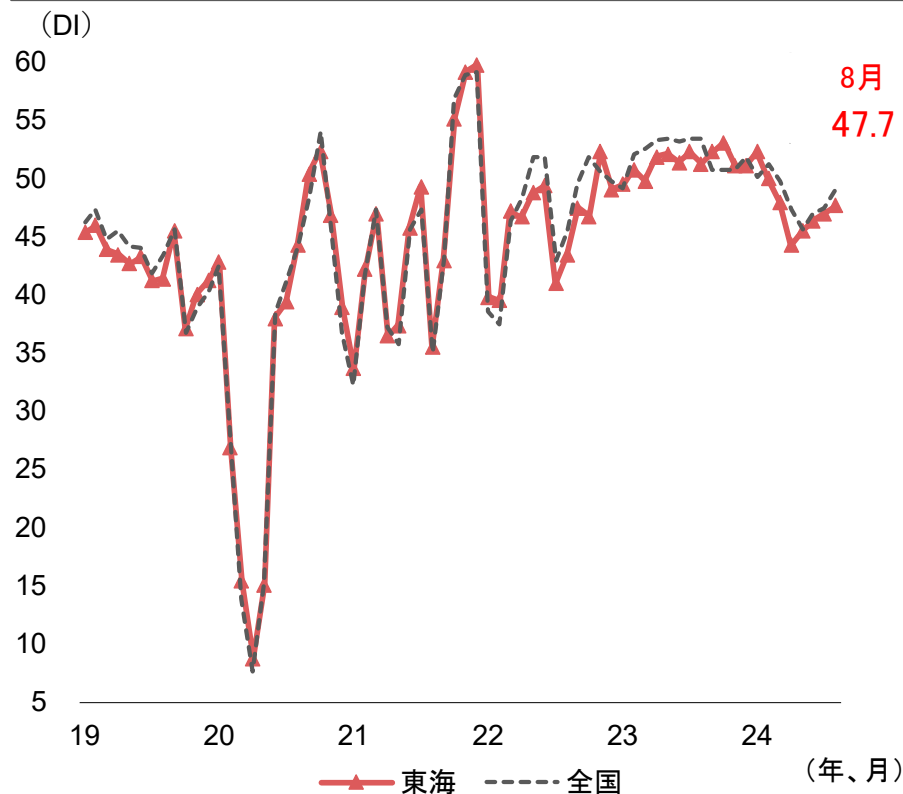
8月の消費者態度指数は、前月から小幅低下した。

8月の景気ウォッチャー調査(現状判断DI)は、前月差+0.7ポイントの47.7となったが、横ばいを示す50を6カ月連続で下回った。インバウンドは引き続き好調、猛暑効果は改善・悪化の両方に効いたようだ。

消費者態度指数



景気ウォッチャー調査(現状判断)



(注)東海の季節調整値はMURC試算
(出所)内閣府「消費動向調査」

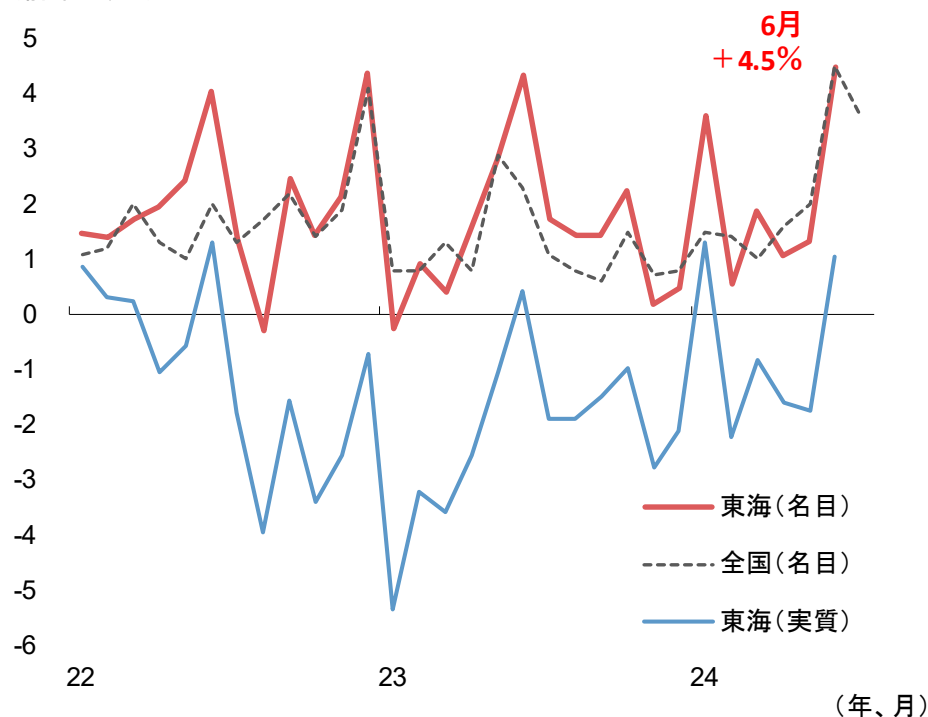
(出所)内閣府「景気ウォッチャー調査」

賃金・雇用

6月の名目賃金は、特別給与の増加もあって前年比+4.5%と伸びが拡大。実質でもプラスとなった。
7月の有効求人倍率は1.29と前月とほぼ同水準。全国に比べ求人倍率が高い状態が続いている。
24年4-6月期の失業率は2.4%と上昇、就業者数は前期比で増加した。

賃金指数

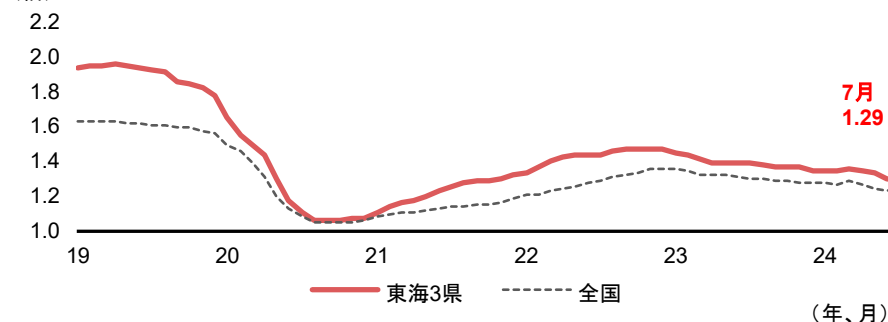
(前年比、%)



(出所) 東海3県の名目賃金指数(現金給与総額)、常用雇用者指数よりMURC作成
(注) 「持家の帰属家賃を除く総合(東海)」で実質化

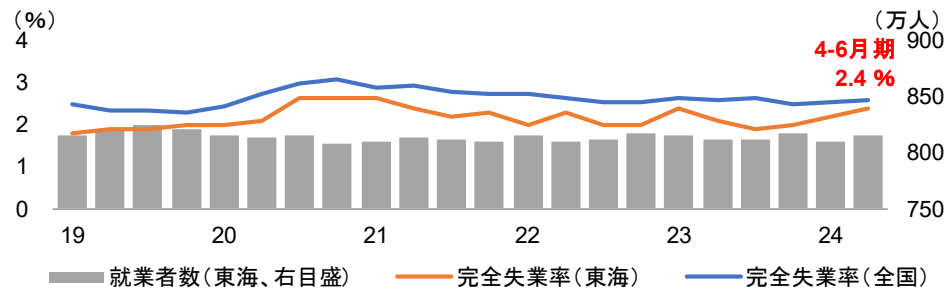
有効求人倍率(季節調整値)

(倍)



(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況」

失業率と就業者数(季節調整値)

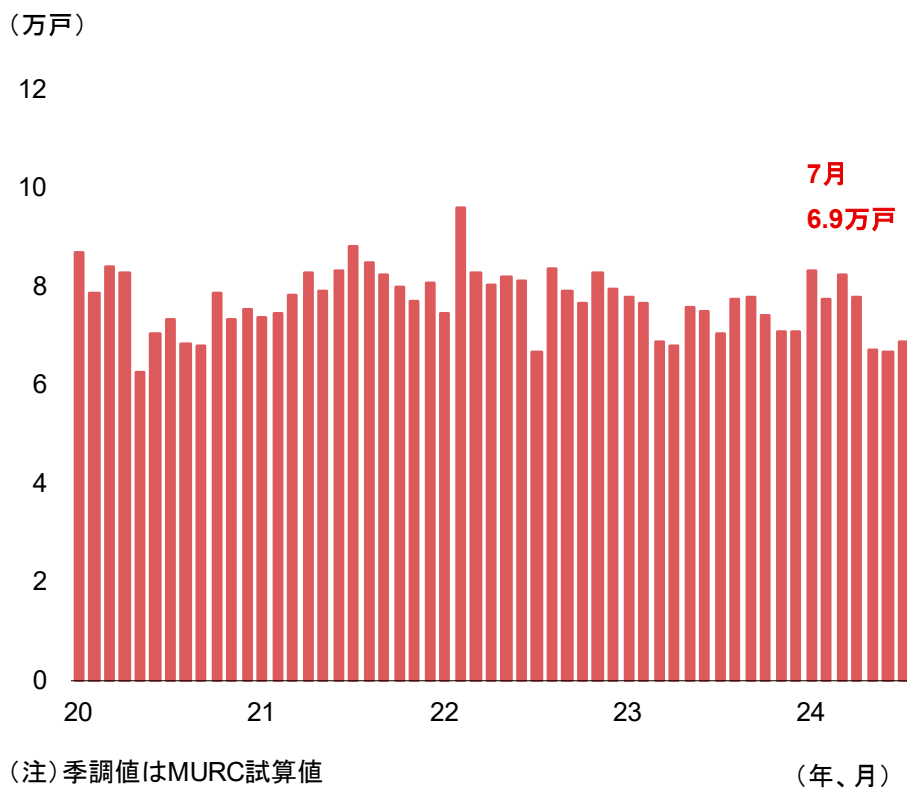


(出所) 総務省「労働力調査」

住宅投資

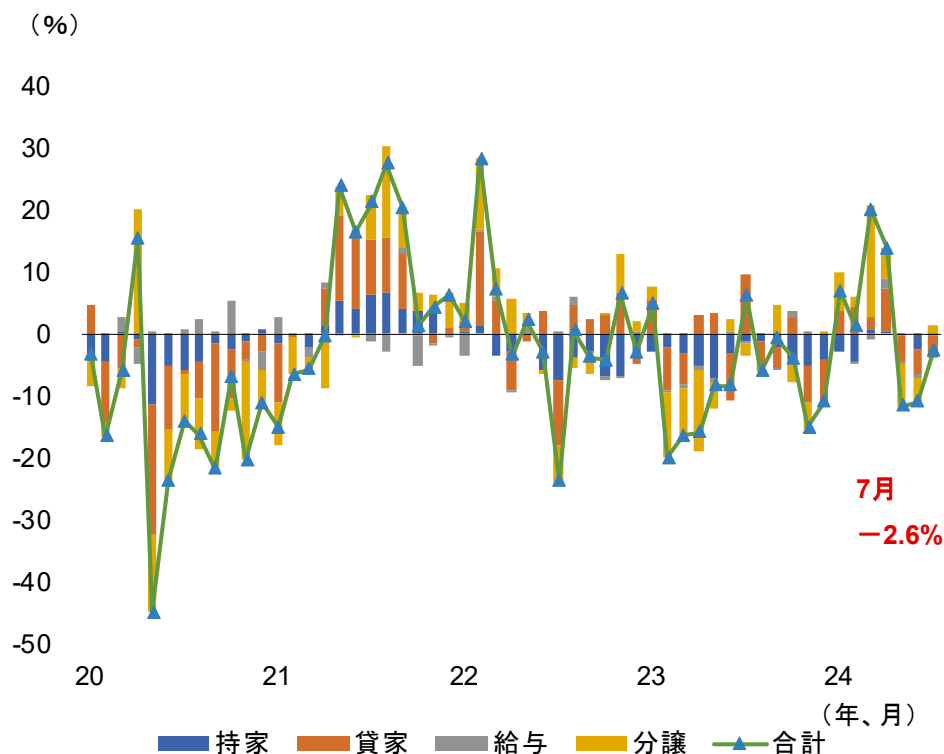
7月の住宅着工は、季節調整済年率換算で6.9万戸と小幅ながら4ヵ月ぶりに増加。前年比では-2.6%と3ヵ月連続で減少した。分譲は増加したが、持家、貸家が減少した。東海の住宅投資は、均してみると横ばい圏で推移している。

新設住宅着工戸数(季調済年率換算)



(注) 季調値はMURC試算値
(出所) 国土交通省「建築着工統計」

新設住宅着工戸数(前年比)

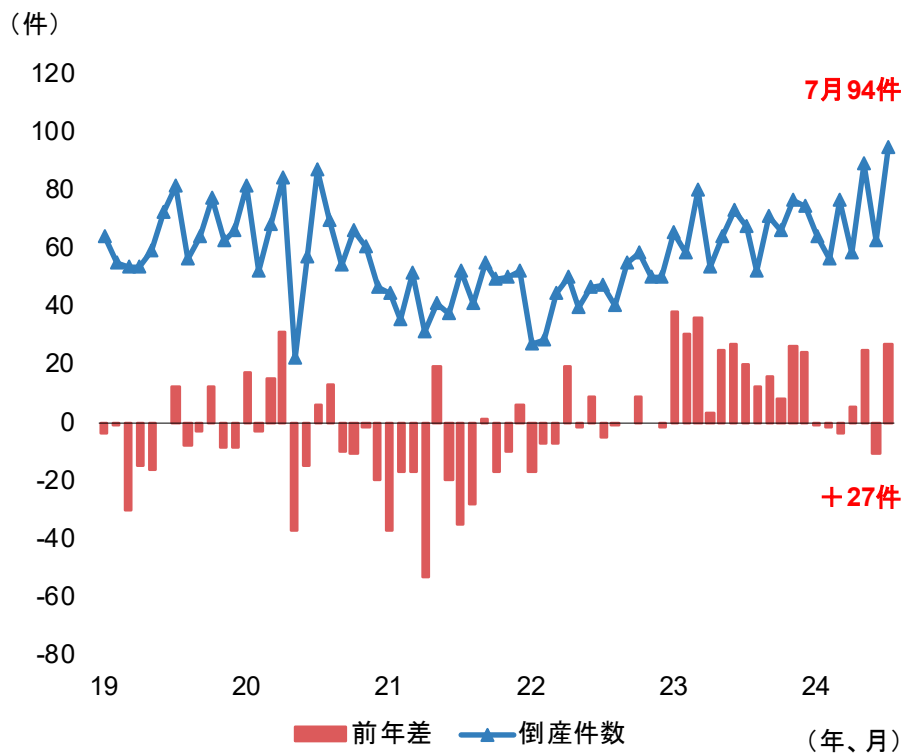


(出所) 国土交通省「建築着工統計」

倒産

7月の倒産件数は前年差+27件の94件。コロナ前程度の水準となっている。

倒産件数

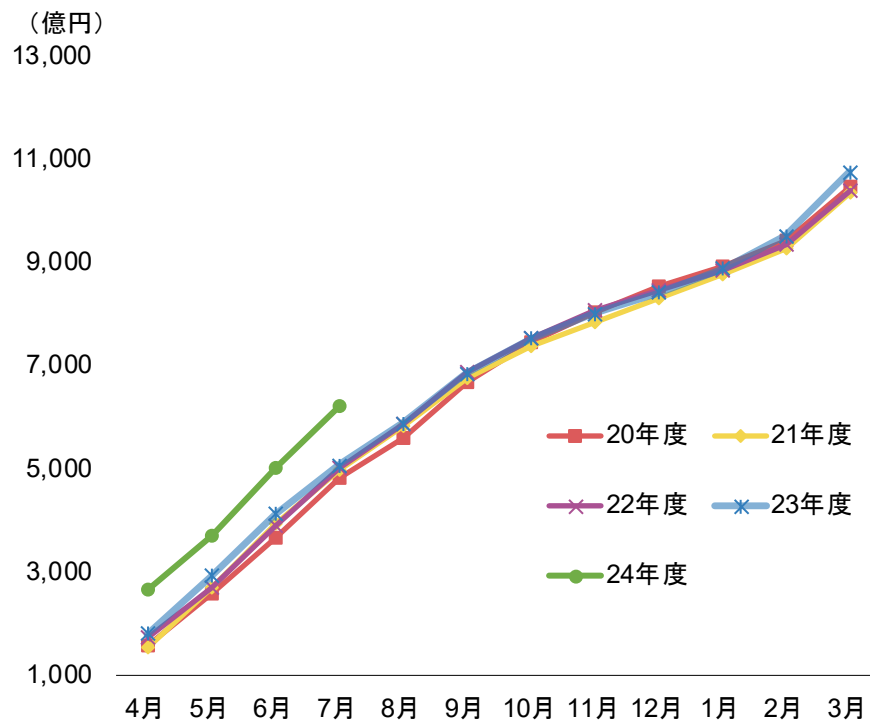


(出所)東京商工リサーチ「全国企業倒産状況」

公共投資

7月の公共工事請負金額(年度累計)は、前年比+22.9%の6,212億円と、例年に比べ高めの水準となった。

公共工事請負金額(年度累計)



(出所)東日本建設業保証「公共工事前払金保証統計」

ご利用に際して

- 本資料は、執筆時点で信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客さまの決定、行為、およびその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客さまご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず、出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください。

(お問い合わせ)

調査・開発本部 調査部 塚田

TEL: 03-6733-1626 E-mail: chosa-report@murc.jp

〒105-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー